

フォーラムニュース 号外 2022 6/10

発行：フォーラム・子どもたちの未来のために実行委員会

<http://www.f-kodomotachinomirai.com/>

文責：大竹永介

6・25 フォーラムトークイベントに 沖縄から元山仁士郎氏の参加が決定！

私がこの一票に込める思いは？

ーウクライナ危機下の参院選を考えるー

★先日 39 号でお知らせしましたトークイベントに沖縄からスペシャルゲストとして元山仁士郎氏の参加が決定いたしました。元山さんは SEALDs の立ち上げメンバーの一人であり、この 5 月には政府の沖縄政策に抗議して首相官邸前でのハンストも決行されました。

★間近に迫った参院選。私たちの前にはコロナ対策はもとより、止まらぬ値上げ、子どもの貧困、格差、気候変動・・・と、すぐにでも解決してほしい問題が山のようにあります。沖縄の問題もいうまでもなくその一つです。

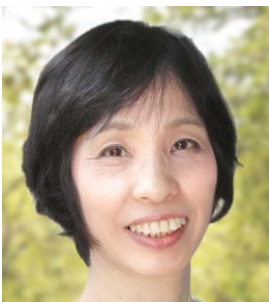
★投票は国の方向を決める大事な行為。私たちが本当に望むもの、大切な一票に込めるものについて、子どもの本に関わる5人の方に元山氏を加え、その熱い思いを語っていただきます。あなたの貴重な一票の指針となれば幸いです。

●元山仁士郎(もとやまじんしろう)



1991 年、沖縄・宜野湾市生まれ。「辺野古」県民投票の会元代表。現在一橋大学大学院法学研究科博士課程。在日・沖米軍基地の位置づけと東アジア冷戦に関する研究を行う。SASPL (特定秘密保護法に反対する学生有志の会)、SEALDs、SEALDs RYUKYU を立ち上げ中心メンバーに。2019 年 1 月「辺野古」県民投票へ不参加表明の 5 市の市長に対しハンガーストライキで全県実施実現を求め尽力。今年 5 月、沖縄「復帰 50 年」に際し、首相官邸前などで辺野古新基地建設の断念を求め再びハンガーストライキ。共著に『あきらめることをあきらめた』『辺野古に替わる豊かな選択肢』。

【講師紹介】



あさの あつこ

1954 年生まれ。青山学院大学卒。1991 年デビュー。97 年『バッテリー』で野間児童文芸賞、99 年『バッテリー2』で日本児童文学者協会賞、2005 年『バッテリー』全 6 巻で小学館児童出版文化賞を各々受賞。2011 年には『たまゆら』で島清恋愛文学賞を受賞するなど児童小説から一般小説、エッセイまで幅広く活躍。著書多数。岡山県在住。



澤田精一（さわた せいいち）

1948年、千葉県に生まれる。福音館書店に入社後、「子どもの館」「こどものとも」「こどものとも年少版」「かがくのとも」の編集を担当。単著に『ひそませること／あばきたてること—絵本編集の現場から』（現代企画室）、『光吉夏弥—戦後絵本の源流』（岩波書店）、共著に『絵本と社会』『絵本ものがたりFIND』（ともに朝倉書店）などがある。



高田桂子（たかだ けいこ）

1945年広島県生まれ。絵本『からからからが…』でデビュー。長編に『ざわめきやまない』（山本有三記念路傍の石文学賞受賞）、『ここから物語がはじまる』など。最近は、大人の本や随筆の世界に心惹かれて挑戦中。短編「トラベリング・コート」で、やましん文芸年間賞（山形新聞社主催）・小説部門の天賞受賞。随筆「いっぴき、にひき」で「香・大賞」銀賞受賞など。



垂石眞子（たるいし まこ）

絵本作家・画家。多摩美術大学卒業。サンリオ退社後、子どもの本の道へと進む。音楽劇『ピーターと狼』のアニメーション制作。

絵本に『もりのおくりもの』『なみだ』『あついあつい』『ぷーちゃんシリーズ』『月へミルクをとりにいったねこ』『あなたこそたからもの』など。

挿絵に「ぞくぞく村シリーズ」などがある。



松本猛（まつもと たけし）

1951年生まれ。美術・絵本評論家、作家、横浜美術大学客員教授、ちひろ美術館常任顧問。1977年にちひろ美術館・東京、97年に安曇野ちひろ美術館を設立。同館館長、長野県立美術館・東山魁夷館館長、絵本学会会長を歴任。著書『いわさきちひろ 子どもへの愛に生きて』『安曇野ちひろ美術館をつくったわけ』、絵本に『白い馬』『ふくしまからきた子』など。<http://www.takeshi-matsumoto.jp/>

日時：2022年6月25日（土曜日）14:00～16:00

オンラインで開催：参加費無料＊定員：100人（先着順）

★下のQRコードか、URL <http://ptix.at/m9ZZF5>

からお申し込みください。

主催：「フォーラム・子どもたちの未来のために」実行委員会

絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作者の会、日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会

